

コロナの影響でいつもの夏ではない京都を地元企業が応援

京都駅の大型サイネージで祇園祭などを放映

7月6日から放映開始

1. 目的 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、いつものかたちではできなくなった京都の祭りや催事の過去の映像を、京都の地元企業が京都駅の大型デジタルサイネージで放映することにより、京都の文化の継承に資するとともに京都の人々の気持ちを応援する。

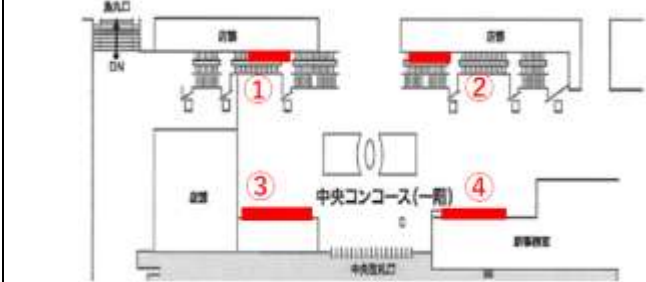
2. テーマ

いつもの祭りはなくとも、こころをひとつに。
One Heart. One Kyoto.

3. 放映期間 2020年7月6日(月)～(約3ヵ月間、ただし一部期間を除く)

4. 放映時間 30秒×約200回/日(6:00~24:00)

5. 放映箇所・サイズ

場所	サイズ
京都駅中央コンコース 京都プレミアム vision 	①②180インチ(60インチ3×4=12面) ③④210インチ(70インチ3×7=21面)

6. 今後の予定

7月6日(月)より京都駅ビルグループ5社(ジェイアール京都伊勢丹、ホテルグランヴィア京都、専門店街 ザ・キューブ、京都駅前地下街ポルタ、京都駅ビル)で先行放映し、8月上旬より協賛企業各社のロゴを放映してまいります。

7月6日から放映 祇園祭 京都駅ビルグループ版



祇園祭

疫病退散の祭り



今年は
山も鮮も
ステイホーム
しとりますが



平安の昔から、
日本は
疫病禍から
立ち上がって
きましたんやて。



今年は
がんばって
来年、
お目に
かかりまひよ。

いつもの祭りはなくとも、心をひとつに。

One Heart. One Kyoto.

京都駅ビルグループ



HOTEL GRANVIA KYOTO



京都駅ビル

(参考資料) 京都プレミアム vision

